



大久保小だより



平成30年12月1日第10号

さいたま市立大久保小学校

さいたま市桜区五関21

048(854)7636

男子148名女子120名計268名

学校教育目標 **カいっぱい かしくく やさしく たくましく**
～ふるさとを愛し、志高く生きる、心優しい大久保の子ども～

カいっぱい、一生懸命やるということ

校長 金子 要一

2学期は行事の多い学期です。学年毎に遠足や社会科見学、宿泊学習があり、また、学校行事もたくさんありました。

11月8日に**スマイルフェスティバル**を行いました。このフェスティバルは、全校児童が九つのグループに分かれ、それぞれの「なかよし教室」に来室したお客さんをゲームでおもてなしするものです。6年生がリーダーになってアイデアを出し合い、実際にゲームを試したりして準備を進めました。当日はどの教室もゲームを楽しむ人であふれました。

11月10日は**タンポポコンサート**でした。(右の写真上が初出場の1年生、下が前の日の地区音楽会と同じ曲を演奏する4年生。)

この日はたくさんの保護者、地域の方がおいでになり、合唱や合奏を楽しんでいただきました。また、多くの拍手もいただきました。

学校ではこのコンサートに向けて、1学期の終わりに曲を決め、2学期から本格的に練習に取り組みました。音楽の授業はもちろん、朝の会なども利用して練習を重ねました。特に10月、11月は朝から夕方まで校舎内から歌声や楽器の音色が聞こえてきました。

当日はその成果が表れ、合唱では多くの児童が口を大きく開け、美しいハーモニーを響かせました。また、心を一つに楽器を真剣な表情で演奏し、きれいな合奏が出来上がりました。おうちで見るのとは違う、お子さんの一生懸命な姿をご覧いただけましたか。

今回のコンサートでの合唱や合奏と同じように、多くの人は習い事の発表会やスポーツなどの試合がある場合、ミスなく上手にできるように、そして、勝つために**一生懸命練習**を重ねます。その練習は、面倒で、辛く苦しいものかも知れませんが、それを乗り越え、辛くても歯を食いしばってやり遂げれば、**記録や技術が向上**することはもちろん、**心も大きく成長**します。**大きな自信**にもなります。時にはうまくいかなかったり、失敗することもあるでしょう。それでも、一生懸命やったからこそ、**失敗から何か学ぶ**ことができるはず。結果はどうであれ、満足できることもあります。

そして何より、**真剣に一生懸命取り組む姿は、見る人に感動を与える**のです。

「それなり」に、「そこそこ」やるというのは、現状維持のままで、記録や技術の向上は望めませんし、心も成長しません。時間も無駄に使うことになってしまいます。そして、見ている人には感動を与えるどころか、ガッカリさせてしまうこともあるでしょう。

12月1日は持久走大会です。(第87回開校記念日でもあります。)

全校児童は、コンサートの後は気持ちを持走大会に切り替え練習に励んでくれました。自分自身の記録の更新をねらい、今まで練習で出した記録をぜひ上回ってほしいものです。児童のみなさん、**カいっぱい、一生懸命**走ってください。

保護者及び地域の皆様もコースにおいでいただき、励ましのご声援を頂けたら幸いです。

